

1 収入 ①稼働率 (%)

	R3年度	R4年度	前年差	R5年度 (見込)	前年差	R6年度 (計画)	前年差
特養	98.8	99.2	0.4	99.2	0.0	99.0	-0.2
短期入所	91.6	92.4	0.8	92.1	-0.3	93.0	0.9
小規模多機能	92.5	89.1	-3.4	81.2	-7.9	92.5	11.3

③介護予防支援計画 (件)

	R3年度	R4年度	前年差	R5年度 (見込)	前年差	R6年度 (計画)	前年差
包括支援センター	4,113	3,880	-233	3,808	-72	3,960	152

(現状と対策)

【施設介護】 重度者(要介護度4以上)の比率が8割を超え、入院リスク及び介護業務の増加。  
今年度実績：看取り8名、入院しそのまま退居3名。介護、看護、主治医との連携強化継続。  
令和6年度介護報酬改定による加算に積極的に取り組む。

【短期入所】 今回の報酬改定により長期利用が減算になるため、見直しをし稼働率90%以上を継続して確保していく。

2 支出 ①人件費率

(事業活動収入、人件費：単位：千円)

	R3年度	R4年度	前年差	R5年度 (見込)	前年差	R6年度 (計画)	前年差
事業活動収入	340,792	342,249	1,457	338,833	-3,416	348,552	9,719
人件費	232,196	231,050	-1,146	228,720	-2,330	230,426	1,706
人件費率	68.1%	67.5%	-0.6%	67.5%	0.0%	66.1%	-1.4%

(現状と対策)

・新卒及び専門職の人材確保を継続。新処遇改善に取組、従業員満足度を上げる。

3 人材の採用、定着、育成

- ・新卒者の確保に努める(今年度実績：0人)。次世代を見越し高卒者の獲得を目指す。
- ・離職者を避けるため、職員のメンタルヘルスや職員のライフスタイルの変化に応じた働き方の要望を面談等で吸い上げ、長く続けられる職場の環境整備に努める。特にコロナ対策に対するケアに努める。
- ・コロナ対策のため延期中止していた職員研修・勉強会を再開していき、認知症関連資格、ユニットリーダー研修の取得を促していく。

4 利用者サービスの質の向上

- ・ユニットケア(個別ケア)の質を高め、入居希望、入職希望者が集まる事業所を目指す。
- ・事業所内の自己評価のみならず、運営推進会議など第三者によるサービス評価を実施する。
- ・地域の社会資源として情報発信をし、地域の高齢者からも頼られる事業所を目指すため行政、他施設及び医療機関と連携し地域の高齢者の生活を支援していく。
- ・医療機関との取組は今回の介護報酬改定の注目事項であるため取り組んでいく。
- ・防犯・防災対策に力を入れ、職員研修を実施し、利用者及び職員が安心安全に生活できるよう配慮する。

5 地域における公益的な取組

- ・地域の認知症高齢者支援の一環として、地元公民館や近隣住民の方々との「認知症高齢者一人歩き見守り模擬訓練」を実施し、高齢者の安心安全な生活に取り組んでいく。
- ・認知症高齢者対応に関し、地域行事や公民館などと、連携を図りコロナ禍での工夫を行っていく。

6 年間行事

4月・5月	6月・7月	8月・9月	10月・11月	12月・1月	2月・3月	会議・委員会	その他
お花見(ドライブのみで対応)	七夕会(個別開催)	納涼祭・敬老会・運動会	寿司パーティ・紅葉ドライブ	クリスマス・餅つき・忘年会・新年会	節分・ひな祭り	入所判定会議・幹部会議・運営推進会議 各種委員会・施設内勉強会(毎月)	消防設備点検・避難訓練(2/年)・防犯訓練(1/年) 水害訓練(1/年)職員健康診断(2/年)・インフルエンザ予防接種 必要に応じた職員ストレスチェック、 福井市と連携したワクチン接種(本年度で終了)

納涼祭・クリスマス・餅つきなどは、家族、地域住民を含めた多数での開催を企画していく。

7 理事会への報告事項(理事長専決事項は全て記入)

- ・令和6年2月24日より施設内コロナクラスター発生 利用者16名、職員9名感染  
3月17日に利用者、職員ともに重症化することなく収束した。
- ・リースにて大型介護社用車(ハイエース)購入 (456千円/年)

②要介護度

	R3年度	R4年度	前年差	R5年度 (見込)	前年差	R6年度 (計画)	前年差
特養	4.2	4.1	-0.1	4.2	0.1	4.2	0.0
短期入所	2.8	3.0	0.2	3.1	0.1	3.2	0.1
小規模多機能	2.6	2.6	0.0	2.3	-0.3	2.3	0.0

【小規模多機能】 登録者29名を確保する。(令和5年度平均25.9名)

【包括支援センター】 新体制での2年目となるため、「介護予防支援計画」及び「総合事業計画」を月平均330件を目標とし、重点業務委託(実態把握、介護予防教室開催、地域ケア会議開催、地域向け認知症関連業務等)等従来業務の確実な実施を継続する。

【全体】 令和6年度介護報酬改定により、特養約3%、短期入所1%、小規模多機能現状維持のベースアップとなるが、早期に新加算に取り組み、増収につなげる。新処遇改善に取組、従業員満足度を上げる。

②その他経費(単位：千円)

	R3年度	R4年度	前年差	R5年度 (見込)	前年差	R6年度 (計画)	前年差
水道光熱費	10,281	11,727	1,446	11,783	56	11,573	-210
修繕費	17,051	2,733	-14,318	1,807	-926	1,800	-7
介護用品費	1,388	1,634	246	1,599	-35	1,439	-160
保健衛生費	875	1,124	249	946	-178	945	-1
研修研究費	335	404	69	554	150	553	-1

※R3年度修繕費 施設建物外壁工事14,850千円含む

(その他)

- ・新型コロナが5類に位置づけられ重症化はしないものの、コロナ、インフルエンザに関し季節感がなくなりかかりやすくなってきた現状を踏まえ、検査キットを用意し施設内感染を未然に防ぐ。
- ・職員のストレスチェック値が高い現状がある。産業医と相談の上必要があれば、ストレスチェックの回数など増やし、体調管理、離職を未然に防ぐなど対応していく。
- ・キャリアパスに基づき、職員一人ひとりに必要な知識・技術が習得できるよう施設内のみならず、外部団体の研修の機会も提供し、社会福祉の専門職としての倫理・資質向上を図る。
- ・職員の意欲向上を目的に人事考課制度を効果的に活用し、施設サービスの質の向上に繋がるよう職員の一人ひとりの成長に必要な指導を行い、次期役職者を育成していく。
- また、キャリア段位制度を活用していく。